

牛が農地を守っています

1 市町村名
吉備中央町

2 内容

吉備中央町の集落営農法人である（農）大明神組合（吉備中央町吉川）は、農地の保全や景観保持を目的として和牛放牧の実証に取り組んでいる。

県農林水産総合センター畜産研究所からレンタルした和牛を含む3頭を、電気柵で1kmにわたって囲った農地に放牧しており、和牛はこれまで旺盛に草を食べている。

同組合では「高齢化により畦畔の草刈りは、年々大変になっている。放牧に関する労働時間や必要経費を調べ、継続的に農地を守っていく一つの方法としていきたい」としている。

3 特記事項・補足事項

農業普及指導センターは、集落営農法人の経営多角化実証として、同組合に調査委託を行っている。

4 関連事業

経営基盤強化促進対策事業費（力強い経営体育成対策事業）